

授業科目名	アジア教育史
科目番号	CB22141
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春C 木3,4; 秋C 集中
担当教員	國分 麻里
授業概要	春学期は、朝鮮教育史を中心にする講義および文献の購読を通して、基礎的な研究成果を学ぶ。秋学期はアジア教育史に関する文献の購読および報告を通して、アジアの教育史に関する理解を深める。
備考	実務経験教員 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	広い視野と国際性。教育学の基礎的体系的知識。教育学における総合的思考力。
授業の到達目標（学修成果）	講義や演習を通して、アジアの教育を比較史的な観点から学ぶ。 春Cの授業は対面で7月の木3・4時間目を実施する。春学期は講義および演習により、朝鮮半島の教育史を中心にその内容や方法を検討する。秋C集中は1月に行うが、春Cの朝鮮教育史を事例として学ぶことで、他の国や地域の教育史研究に対する研究手法を学んでほしい。
授業計画	第1回 アジア教育史についてのガイダンスを朝鮮教育史を中心に行なう。 第2回 朝鮮の教育史の始まりを日本の教育史と比較しながら史資料から学ぶ。 第3回 朝鮮の科挙制度を史資料から学ぶ。 第4回 朝鮮の近代教育史を中心に史資料より学ぶ。 第5回 朝鮮の近代教育史の中でも植民地期の教育史を史資料より学ぶ。 第6回 朝鮮の近代教育史に関する映像を見る。 第7回 朝鮮の近代教育史に関する論文を読む。 第8回 朝鮮の近代教育史に関する論文について討論する(1)。 第9回 朝鮮の近代教育史に関する論文について討論する(2)。 第10回 まとめテスト 第11回 アジアの国での教育史について各自検討し報告する 第12回 アジアの国での教育史について各自検討し報告する 第13回 アジアの国での教育史について各自検討し報告する 第14回 アジアの国での教育史について各自検討し報告する 第15回 アジアの地域での教育史について各自検討し報告する 第16回 アジアの地域での教育史について各自検討し報告する 第17回 アジアの地域での教育史について各自検討し報告する 第18回 アジアの地域での教育史について各自検討し報告する 第19回 アジアの地域での教育史について各自検討し報告する 第20回 まとめ 秋学期集中(1月)は、アジアの国や地域からそこで行われている教育史について各自検討し報告する。演習形式で授業を行う。秋学期集中の日程は次のとおりである。3限目から開始し、報告者や順番はmanabaに掲載している。12月に中間報告をmanaba上に提出してコメントを受けること。
履修条件	
成績評価方法	授業の様子(40%)、提出物(10%)、まとめテスト(50%)で評価する。
学修時間の割り当て及	朝鮮半島の歴史に対する新聞記事や論文を日頃から読む。日本からの視点だけでなく、

び授業外における学修方法	朝鮮半島からの視点からものものも選択すること。
教材・参考文献・配付資料等	プリント類は適宜授業で配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	事前にメールで連絡をしてくれることが望ましい。 kokubu at human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	(1)教員からの連絡はmanabaから行なう予定である。時々確認すること。(2)春学期の集中授業の際に、秋Cの報告順番なども決める。(3)日頃からアジア諸国の教育についての関心を持つこと。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	アジア教育史，朝鮮半島，歴史，学校，制度